

実践事例

(進路) 河合中学校 2年

2年生の職場体験

5月～9月(15時間)

1 ねらい

自分の生き方探しのために、生きることや働くことの意義について生徒一人一人に問題意識をもたせることをねらいとする。3年間を通し、各学年の成長段階にあわせ、キャリア教育をしていくことにした。1年生では、OKネットからリンクされている「職業ナビ」を用いて、自分に合った職業を考え、職業調べをしていく。さらに、身近な地域である岡崎の企業や店舗などをワンデーフリー形式で訪問し、地域の産業に触れる機会を作る。2年生では、職業適性検査を行い、その結果を踏まえた上で夏休みに行く「職場体験」をさせていただき業種を考え、実際に体験させていただく。さらに、名古屋ワンデーフリーで、愛知県の中心産業に触れる機会を作る。3年生では、修学旅行で東京をワンデーフリーすることにより、日本の中心産業に触れる機会を作る。

このように、各学年の成長段階にあわせ、身近な地域からだんだんと視野を広げ、最終的には、グローバルな視野をもった進路選択ができることを狙いとしている。

2 実践の概要

(1) 仕事に対する興味・関心の喚起

自分のことほど、知らないことはない。自分では分からない長所や短所、自分の適性というのは、なかなか気づかないものである。自分自身を客観的に見つめることにより、自分自身を知ると言うことは、多くある。そこで、職業適性検査を行うことにした。一概にその検査ですべてが分かるわけではないが、その結果を見て生徒は、今まで気づかなかった自分自身を見つめ直していた。さらに、その結果から得られた自分に合う職業というの、いくらか興味を示す生徒もいた。

(2) 仕事の責任の重さを知る

自分がやりたいと感じた職業であったとしても、華やかな部分のみが伝わっており、その実態は陰に隠れていることが多い、嫌になったからといってすぐに辞めてしまっていないわけではない。また逆にそれを乗り越えたときにこそ感じられる達成感や充実感というものもある。どんな仕事にも、少なからずいやなことがあり、挫折の危険性をはらんでいるものである。

今回の職場体験は、生徒は職種を希望することはできても、具体的な職場を選択することはできない。本校の生徒は、小規模校である故に、保育園から中学校まで、常に同じ仲間たちと過ごしている。今まで、小さな社会集団のみで暮らしているため、友達通しの繋がりが強く、自分の思い通りに過ごせてきていることが多い。しかし、社会に出ると、常に自分の思い通りに事が運ぶわけではなく、今まで感じたことのない、より多くの人たちとの付き合いも増えてくる。これまでの人生で経験したことのない、甘えの許されない職場に放り込まれることにより、それなりの覚悟を持って取り組まなければならないのである。

(3) 職場体験の具体的な計画づくりに取り組む

仕事に対する意識づけが十分に整った段階から、体験先とのやりとりが本格的に始まる。生徒達は希望の職種を考え、1クラスなので、担任が指導に当たった。必要に応じ、他の教員も助言

を与える態勢をとった。基本的に、教師側が事前に事業所とコンタクトを取り、先方に失礼がないようにお膳立てをしたうえで、生徒達にお願いさせることになる。生徒は受け入れ事業所ごとに役割分担をして、日頃の協同学習の成果を発揮することができた。さらに仕事の内容を事前に理解しておくために、インターネットを通じて調べ学習をして、本番の取り組みに役立つように心構えを培った。

(4) 社会人としての礼儀・作法を学ぶ

社会人となるためには、礼儀・作法は、大切である。事前訪問や本番の体験で失礼のないように、社会での一般常識や緊急時のときの対応マニュアルを確認した。さらに事前訪問と本番の前日には、全ての受け入れ事業所ごとに打合せの場も設けた。

(5) 実際の仕事の現場で真剣に働くことを通して学ぶ

予め自分が出向く職場や仕事の内容をインターネットで調べ、『それでもわからなかったこと』や、『さらに突っ込んで詳しく知りたい内容』を準備し、職場の方からの説明や問いかけに適切に対応できるように態勢を整えておいた。その成果もあって、職場での説明会の後の質疑応答の時間に、積極的に手を挙げ自信をもって質問する生徒が多く見られた。

(6) まとめとふりかえり

2学期に入り、総合の時間を用いて、職場体験のまとめを各自の体験時のメモやレポートを基にワークシートにまとめさせた。

3 実践を振り返って

本校は、小規模校なため、友達に頼らないようにと、職場体験は基本、1人1事業所を目指しているが、受け入れ先事業所の都合もあり、なかなかそうならないことも多い。さらに、公共交通機関も思うように使えないこともあり、生徒が本当に希望する職種で体験できないこともある。教師側がもっと受け入れ可能な事業所を開拓し、より生徒の希望や実態に合う職場体験学習ができるようにしていきたい。

